

2017年度COMPAS成果報告シンポジウム

有明海の環境・漁業問題

～現状と将来展望～

主催：佐賀大学低平地沿岸海域研究センター

2018年
3月17日(土)
13:00-17:50



趣旨

有明海の環境問題・漁業問題については、10年ぶりに国の有明海・八代海等総合調査評価委員会の報告書が発刊されましたが、未だに問題発生の主たる要因は未解明な点が多く、実効性ある再生策も見いだされていません。本シンポジウムでは、有明海地域共同観測（COMPAS）のこれまでの研究成果を中心に、こうした問題の実態と発生機構、さらにはこれまで解明された発生機構に基づいた再生方策の可能性について、研究者以外の一般市民・行政等に広くかつわかりやすく紹介し、最新の学術研究成果に基づいた今後の有明海問題の解決への道筋を示します。

場 所 佐賀大学 理工学部6号館都市工学科大講義室

参加費 無料

対 象 研究者・学生・一般市民

プログラム

13:00～13:05 開会挨拶：寺本理事（佐賀大学）

13:05～13:15 背景・趣旨説明：速水祐一（佐賀大学低平地沿岸海域研究センター）

13:15～13:55 招待講演

有明海における生物・水産資源をめぐる問題の現状と今後の再生方策（仮題）

樽谷賢治（西海区水産研究所、有明海・八代海等総合調査評価委員会 生物・水産資源・水環境問題検討作業小委員会委員長）

13:55～14:25 有明海の底生動物群集とその形成 吉野健児（佐賀大学）

14:25～15:55 有明海で発生する赤潮の動向とその機構 木村圭（佐賀大学）

15:55～16:20 休憩・ポスター立ち会い説明

16:20～16:50 有明海の貧酸素化はなぜ進行したのか？ 山口創一（九州大学）

16:50～17:20 潮受堤防の建設から20年：諫早湾の海洋生態系はどうなったのか？ 小森田智大（熊本県立大）

17:20～17:45 有明海の環境・漁業の再生への道筋について 速水祐一（佐賀大学）

17:45～17:50 終了の挨拶 藤井直紀（佐賀大学）



お問い合わせ

佐賀大学低平地沿岸海域研究センター

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄1

TEL/FAX 0952-28-8846

E-mail medusae@cc.saga-u.ac.jp